

指定管理者評価表

様式1

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立農業公園 (交流施設)	
(2) 施設の設置目的	
農業と自然に触れ、親しみ、学ぶ場を提供し、もって農業の振興及び市民文化の向上に資するため設置	
(3) 所管部局	
産業振興局 農政部 農水産課	
(4) 指定管理者名	
堺市農業協同組合	
(5) 指定期間	
平成26年4月1日から平成31年3月31日 (5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none"> ○施設の運営に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置に関すること ・農産物直売所の運営に関すること(出荷物の生産計画及び出荷調整に関すること、出荷物の受入・販売に関すること、商品の仕入、販売に関すること、出荷者への支払いに関すること) ○施設の維持管理に関する業務 ○自主事業の計画、実施 	
(7) 有料施設の有無	
有 (利用料金制)	
(8) 公募・非公募の別	
<p>非公募</p> <p>(非公募の場合その理由)</p> <p>堺市立農業公園の中核施設である「交流施設」は、本市の農業振興を目的として設置した施設である。堺市農業協同組合は、本市と密接に連携して農業振興に努めており、直売所の運営は開設当初より堺市農業協同組合が農産物直売のノウハウを持って経営を行ってきた。</p> <p>また、その組織力を活かして生産農家の拡充と生産農産物の安全・安心を確保するための生産履歴簿の記帳や栽培、出荷、販売指導を行うことにより、地元農産物の取扱品目及び数量の拡大、生産農家所得の向上・安定を図っている。「堺のめぐみ」ブランドの定着化や生産拡大を図るとともに、魅力ある農業を振興し、多様な担い手の育成、地産地消の拠点として、安全・安心・新鮮な地場農産物の販売に努めてきたことにより着実に事業実績を積み重ねてきた。</p> <p>なお、平成21年12月、駐車場に開設した大型の新農産物直売所は、建物を堺市農業協同組合から本市に寄付を受けたものである。</p> <p>また、農業公園の管理運営に当たっては、堺市と株式会社ファーム及び堺市農業協同組合が経営参画する法人を設立し、互いに連携協調し事業を推進してきた経緯がある。</p> <p>本施設は農産物直売所という特殊性、上記のような施設の設置・運営経緯及び平成18年度からの指定管理者としての運営実績を勘案すれば、堺市農業協同組合を指定管理者として更新するのが最も適切であり、他の団体ではこのような管理運営は望めないものとする。</p>	
(9) 主な利用者	(10) 市内における受益対象者数
都市住民	不特定多数
(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標	
道の駅「いずみ山愛の里」、JAいずみの「愛彩ランド」、JA大阪泉州「こーたりーな」、JA大阪南「あすかてくるで」、葉菜の森、よってって和泉中央店	

2 管理運営状況

(1)特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

利用者の93%が堺市民であり、ほとんどの出荷者が堺市民又は堺市内事業者、従業員25名中20人が堺市民という特性上、農産物栽培と販売、それに伴う地域雇用を通じて地域住民への地産地消の推進と地域農業への理解促進を進めることで地域貢献を果たしていると考えます。

(2)利用者サービス

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
指定管理者名	堺市農業協同組合	堺市農業協同組合	堺市農業協同組合	堺市農業協同組合	堺市農業協同組合
ア 利用者数 (人)	225,629	227,530	210,754	203,144	
利用者数の算出方法	レジ通過者数				
市による状況分析	類似施設の新規出店やリニューアルなど競合施設が増加傾向にあり、顧客獲得の競争激化により利用者が減少していると考えられる。				
イ 稼働率 (%)	—	—	—	—	—
稼働率の算出方法	—				
市による状況分析	—				
ウ 利用者満足度 (%)	73	76	80	77	
利用者満足度の測定方法	H31.2.7~9に利用者を対象にアンケートを配付し、393名から回答を得た。従業員の接客態度に関する項目(3段階:「良い」「普通」「悪い」)のうち、「良い」の割合を集計。				
市による状況分析	以前から利用者の要望があった精肉販売について、新たにコーナーを設けるなど利便性や満足度向上に努めている。				

(3)管理体制等

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ア 職員数(人) ※各年度4月現在	29	25	24	25	26
イ 職員研修(回) ※令和元年度は予定回数	2	2	2	3	3
ウ 要望、苦情等(件)	109	111	60	74	—
エ 事件、事故等(件)	0	0	0	0	—
市による状況分析	効率的かつ効果的な人員配置を行うとともに、施設スタッフ以外のJA職員による定期的な移動販売など、組織力を活かした活動を実践している。				

(4)収支状況(単位:円)

■指定管理業務

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(予算)
ア 収入	指定管理料	11,878,000	11,288,000	11,317,000	11,280,000	4,741,000
	利用料金	180,476,143	181,984,090	164,112,171	161,183,206	178,000,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他収入	3,350,918	3,104,965	2,731,369	2,589,659	3,409,000
合 計		195,705,061	196,377,055	178,160,540	175,052,865	186,150,000

イ 支出	人件費	59,384,042	61,476,293	57,747,239	60,770,146	60,000,000
	委託料 ()内は総支出額 に占める委託料の割合	3,440,124 (1.7%)	4,025,385 (2.1%)	3,614,218 (1.9%)	3,191,130 (1.7%)	2,700,000 (1.5%)
	その他経費	21,161,210	20,600,551	21,618,270	17,855,557	13,450,000
	売上原価	114,676,730	109,589,994	103,623,392	100,854,680	110,000,000
合 計		198,662,106	195,692,223	186,603,119	182,671,513	186,150,000
利用者一人当たりの支出額		880	860	885	899	—

ウ 収支差額	-2,957,045	684,832	-8,442,579	-7,618,648	0
--------	------------	---------	------------	------------	---

エ 市への納付金の額	0	0	0	0	0
------------	---	---	---	---	---

オ 徴収委託の場合 の徴収額	—	—	—	—	—
-------------------	---	---	---	---	---

市による状況分析	近隣の大型農産物直売所全体の売上額はほぼ横ばいであるが、類似施設が増加しており、顧客獲得の競争激化により売り上げが減少している。 人件費が高騰する中、光熱水費などランニングコストの縮減などにより支出減に努めているものの収支は厳しいものとなっている。
----------	---

■自主事業 (有)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(予算)
ア 収入	122,013	176,793	139,142	146,902	362,000

イ 支出	122,013	176,793	139,142	146,902	362,000
------	---------	---------	---------	---------	---------

ウ 収支差額	0	0	0	0	0
--------	---	---	---	---	---

エ 市への納付金の額	0	0	0	0	0
------------	---	---	---	---	---

オ 事業数(回)	23	21	23	35	
----------	----	----	----	----	--

カ 参加者数(人)	3,788	8,098	4,457	6,447	
-----------	-------	-------	-------	-------	--

主な自主事業	栽培講習会、農薬適正使用講習会、試食会、利用券配布 (JA堺市利用者向け)
--------	---------------------------------------

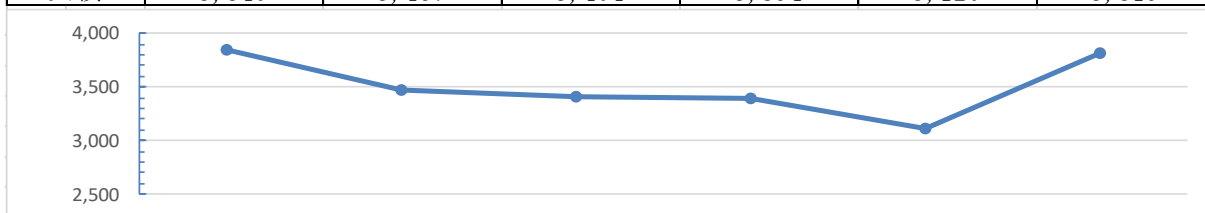
市による状況分析	利用者の購買意欲向上や出荷農産物の多品目化・品質向上するための自主事業を行うなど、地産地消の推進と地域農業の理解促進を図っている。
----------	---

3 目標管理、評価等

(1)適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	生産履歴記帳簿	(設定理由) 生産履歴記帳簿の提出及び検証により安全、安心を確かなものにするため。
	目標	平成24年度実績件数4,135件を上回る	(設定理由) 前指定管理期間の最高件数を上回る
	実績	3,819件	(分析) 農業従事者の高齢化や類似施設の増加により、地場農産物の確保が難しく、目標達成率は92.4%であった。しかし、多品目栽培の奨励などの取り組みにより、昨年度に比べてチェック数は増加している。 ※目標未達成時は詳細な原因分析

(単位:件)						
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
実績	3,840	3,467	3,404	3,394	3,120	3,819



平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	食品事故防止のため対応マニュアルを策定し、また生産者を対象に生産履歴記帳簿の提出及び農薬使用方法の研修会を開催し、生産者の教育指導を行う等、農産物の安全確保に努めていた。
---------------------------------------	---

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	事故、苦情に関する対応は、消費者に誠意をもって対応し、適切に行われていた。
-----------------------	---------------------------------------

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評価	B	B
	具体的な理由	出荷者の高齢化や台風の影響もあり、目標値を上回ることができなかった。店舗の品揃えの充実を図るため、出荷者に多品目栽培を奨励することで、昨年度に比べてチェック数が増加に転じた。	農業従事者の高齢化や類似施設の増加により地場農産物の確保が難しい中、出荷者との信頼関係の強化や新品目栽培の奨励などにより質・量の充実に取り組んだ。
対応策等	今後も消費者ニーズに沿った地場農産物の確保や仕入れ商品の充実などにより消費者・出荷者の双方に選ばれる店舗をめざす。	引き続き、目標値達成に向けて新規就農者や定年帰農者など新たな出荷者を確保し、豊富な品揃えによる魅力ある施設運営を期待する。	

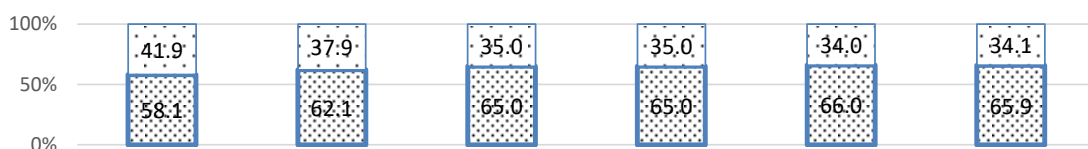
評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	地元農産物の提供	(設定理由) 地産地消の推進と地域農業の理解促進
	目標	地元農産物の出荷割合:60%超	(設定理由) 前指定管理期間の地元出荷率を上回る
	実績	65.9% : 34.1%	(分析) 地元農産物の出荷量増加を図るための取り組みを継続して行ったことで、目標達成率は109.8%となった。 ※目標未達成時は詳細な原因分析

(単位:%)

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
出荷率実績	58.1	62.1	65.0	65.0	66.0	65.9
仕入率実績	41.9	37.9	35.0	35.0	34.0	34.1



利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項

野菜ソムリエの資格を持つスタッフによる旬の「堺のめぐみ」を使用した試食会(毎月1回先着300名)の開催をはじめ、各区民まつりへの出店やJA堺市五箇荘支所等での移動販売など認知度向上に努めた。

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応

事故、苦情に関する対応は、消費者に誠意をもって対応し、適切に行われていた。

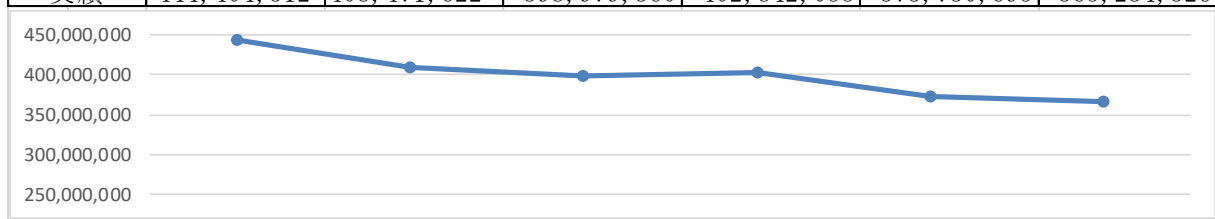
評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	A		A	
	具体的な理由	出荷量の確保や端境期での出荷量増加を図るため、出荷者を対象とした野菜栽培講習会等を開催し、生産者の意欲向上に努めた。		出荷量増加を図るための出荷者を対象とした野菜栽培講習会等を開催し、生産者の意欲向上に努めたことは評価できる。	
対応策等	引き続き多品目栽培や新品目の奨励を進めていく。		今後も継続して多品目栽培や新品目の奨励を図り、出荷量を確保するなどの対策が望まれる。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組を行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組を行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	農産物直売所売上額	(設定理由) 同種の施設(小売業)の経営指標として適当である
	目標	6億円	(設定理由) 利用者30万人で客単価2,000円で設定
	実績	365,234千円	(分析) 集客の取り組みを行ったものの、台風の影響もあり利用者数の減少がすすみ、目標達成率は60.8%となった。 ※目標未達成時は詳細な原因分析

(単位:円)						
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
実績	444,404,312	408,471,622	398,979,360	402,842,058	373,730,695	365,234,326



収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	直売事業における品目ごとの収入内容や、経費内訳など詳細な記録管理が徹底されている。
------------------------------------	---

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	利用者のニーズに合った店舗づくりを目指すため、アンケート調査を実施したことは、今後の管理運営に反映できるものと評価できる。
-----------------------	---

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	C		C	
	具体的な理由	従前からの利用者の高齢化によるリピート率の伸び悩みや、競合直売所の増加、秋の台風21号による出荷物の減少が大きく影響し、目標を大きく下回る結果となった。	台風による農作物被害の影響等で、売上高365,234千円(対目標比60.8%)と目標を下回った。新品目栽培に向けた栽培講習会の開催や、施設利用者向けのイベント頻度を増加する等、集客への取り組みを行っていたことは評価できる。しかし、利用者数の減少も深刻であり、新たな利用者の取り込みが必要とされる。		
対応策等	(月・金)農業公園入園割引券進呈、(火)切花半額セール、(木)米10%引き、(金)玉子10%引きなど平日の集客対策の強化と新規加工品の品揃え強化を実施する。	利用者への地産地消に関する理解促進やアンケート調査等による消費者ニーズにあった商品の充実にも努めている。様々なメディアを活用したPR活動を積極的に実施するなど集客向上を進められたい。			

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの